致道博物館 記念特別展 第4部

藩祖 酒井 忠勝

代であり、藩祖でもある酒井忠勝の事績をたどっています。本連載では特別展 酒井家入部以前の庄内についてです。 の内容に沿って6回に分け、その事績を紹介します。1回目は江戸時代初期、 かけて特別展を開催しています。第4部の「藩祖 酒井忠勝」では、酒井家3 酒井家庄内入部400年の記念の年に当たり、致道博物館は4月から12月1

烈な戦いを繰り返しました。 内地域の覇権をめぐって熾 大正19 (1591)年には、 上家と越後国の上杉家は庄 戦国時代末期、山形の最

> 1 されています。土地を寄進 し、領内の治国平天下を願 120カ所にわたって発給 所持之寺社在之候右黒印写 家文書「左衛門尉領内庄内 展の礎を築きました。酒井 寺社への寄進状は庄内全土 (享保11年)」によれば、 一郡之内最上出羽守殿黒印

護するなど、庄内地域の発 復興と寄進を行い手厚く保 寄合(幕府の職の一つで、 芸部長・本間豊

りました。(致道博物館学 譜代大名並みの待遇)とな 減され、5000石の交代 義智は幼少のため領地を半 俊は27歳で亡くなり、4代 封されます。なお、最上義

を配し、その外には町人町があったという 作成されたもの。二の丸に最上家重臣の屋敷 最上家時代鶴ヶ岡城之古図(大泉叢誌絵図二 より)。寛文4(1664)年に口伝をもとに

◇掲載にあたり

だいた。6回連載予定。 績について、同館の本間豊学芸部長から執筆いた 31日 (月) まで開催している。 藩祖・忠勝公の事 博物館は特別展第4部「藩祖 酒井家庄内入部400年記念で、鶴岡市の致道 酒井忠勝」を10月

最上 上家時代の庄内統治

それまで庄内を治めていた を除く、現在の山形県内と ることとなります。最上家 徳川家康が勝利すると、翌 600) 年関ヶ原の戦いで ます。しかし、慶長5(1 権により改易され、庄内は 大宝寺(武藤)家が豊臣政 する5万石の大大名となり 年、最上家が庄内を領有す 田利地域(秋田県内)を領 は、上杉家領(置賜地域) 上杉家の領国に組み込まれ 603)年、大宝寺城を「鶴 ど灌漑用水の整備を行って 川の治水工事や北楯大堰な ました。 金峯山など庄内各地の社寺 更します。また、羽黒山や 城を「亀ヶ崎城」に名称変 備したといわれ、慶長8(1 義光は武藤家時代以来の「大 ケ岡城」に、酒田の東禅寺 新田開発に力を入れます。 宝寺城」を隠居所として整 最上義光は、洪水の多い

酒井家庄内入部400年

ぐと、一族・家臣間で家督 平家・戸沢家・酒井家が移 に改易、近江大森1万石に 元和8 (1622) 年8月 をめぐる争いが勃発します 義光が没すると、藩主を継 最上家旧領地に鳥居家・松 減封されました。その後、 義俊が若干13歳で家督を継 いだ2代家親が急死。3代 ったものです。 (最上騒動)。最終的に、 慶長19 (1614) 年に



打ち鳴らすもの るし、拝礼の際に参詣者が綱を用いて 市山王町・日枝神社蔵。社殿の前に吊 納慶長十六年辛亥五月吉日」。鶴岡 鶴岡市指定文化財「鰐口 最上義光奉